


野菜の需給・価格動向レポート(平成26年8月4日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		6月の価格情報		7月の価格情報			8月	生育及び価格の8月の見通し	
		平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		平年価格		
			下旬		上旬	中旬			
葉茎菜		67.20	85	74.19	77	64	74.19	・入荷見込量：15,330t（100） ・主産地：群馬（78）、岩手（14）、北海道（3）	・群馬産は、生育は順調で今後最盛期に向け増量して、平年並みの出荷の見込み。岩手産は、生育は順調で前倒し出荷となっており、平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が平年並みと見込まれ、岩手産の出荷は平年並み若しくは平年をやや上回ることが見込まれることから、価格は引き続き平年をやや下回って推移する見込み。
		81.66	93	88.91	78	63	88.91	・入荷見込量：4,40t（102） ・主産地：群馬（78）、長野（21）	
	 (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	264.10	293	273.33	348	304	273.33	・入荷見込数量：4,190t（100） ・主産地：茨城（38）、青森（22）、北海道（9）、秋田（8）、輸入（6）、千葉（3）	・茨城産は、干ばつ気味でやや細めとなっているものの、生育は概ね順調であることから平年並みの出荷の見込み。青森産は、目立った病害もないことから、生育は順調で平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		334.73	279	487.13	264	238	487.13	・入荷見込数量：200t（100） ・主産地：香川（25）、徳島（22）、三重（14）、奈良（14）、大阪（9）	
		67.05	93	58.82	72	57	58.82	・入荷見込量：5,820t（100） ・主産地：長野（92）	・長野産は、特段の病害もなく生育は概ね順調で、現在は大玉傾向でやや多めの出荷であるものの、今後はこれまでの長雨等の影響も懸念されており、平年並みの出荷に向かう見込み。 ・長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		77.96	90	62.79	75	57	62.79	・入荷見込量：2,800t（104） ・主産地：長野（100）	
		376.10	538	583.95	525	605	583.95	・入荷見込量：800t（101） ・主産地：栃木（28）、群馬（27）、茨城（18）、岩手（11）	・群馬産は、大雪によるハウス再建の遅れや暑さによる生育の停滞から、平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、夜温が低くて停滞していた生育は、概ね回復していることから平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産はやや少なめの出荷が見込まれるものの、栃木産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年をやや上回って推移する見込み。
		396.89	649	670.86	554	614	670.86	・入荷見込量：370t（92） ・主産地：岐阜（86）、北海道（11）	
		120.13	121	120.13	119	112	158.27	・入荷見込量：9,660t（95） ・主産地：長野（87）、群馬（11）	・長野産は、一部で病害が発生し小玉傾向であるものの、今後は生育は回復することが見込まれ、概ね平年並みの出荷の見込み。群馬産は、これまでの降雨の影響で生育はあまり良くなく少なめの出荷となっており、今後は平年並み若しくは平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・入荷が少なく現在の価格は平年をやや上回っているが、8月以降は平年の価格水準が上がる時期となること、大宗を占める長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づく見込み。
		125.61	121	125.61	121	109	152.57	・入荷見込量：2,100t（97） ・主産地：長野（99）	
		71.02	105	84.85	106	109	84.85	・入荷見込量：9,800t（100） ・主産地：北海道（35）、兵庫（30）、佐賀（20）、輸入（6）	・北海道産は、干ばつ傾向で推移していたが、最近の降雨により玉肥大が多少進んだことから、出回り当初は平年並みの出荷となる見込み。兵庫産は収穫は終了し、貯蔵品の出荷であり引き続き平年並みの出荷の見込み。佐賀産も収穫は終了して現在は貯蔵品の出荷であり、平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産、兵庫産及び佐賀産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの引き続き平年をやや上回って推移する見込み。
		71.02	103	84.85	104	111	84.85	・入荷見込量：3,200t（93） ・主産地：兵庫（85）、北海道（8）	
果菜		189.84	252	210.69	206	204	210.69	・入荷見込量：8,010t（100） ・主産地：福島（40）、岩手（22）、秋田（15）、宮城（5）	・福島産は最近の夜温も高いことから、生育は順調で平年並みの出荷の見込み。岩手産は、特段の病害もなく、生育は順調で平年並みの出荷の見込み。秋田産は生育は順調で、現在やや多めの出荷となっており、引き続きやや多めの出荷の見込み。
		177.22	235	221.71	189	195	221.71	・入荷見込量：2,200t（106） ・主産地：福島（37）、北海道（27）、愛媛（23）	
		209.59	232	229.51	281	270	229.51	・入荷見込量：10,270t（100） ・主産地：青森（24）、北海道（19）、福島（17）、群馬（11）、岩手（7）、千葉（7）	・青森産は、天候に恵まれ台風などによる影響もなく、特段の病害もないことから生育は順調で、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、天候に恵まれ生育は順調なことから平年並みの出荷の見込み。福島産は、高冷地では曇雨天や朝晩の冷え込みから増量ペースが穏やかになっているものの、生育は順調なことから、平年並みの出荷の見込み。 ・青森産、北海道産及び福島産が平年並みの出荷が見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みで推移する見込み。
		228.53	271	271.33	276	288	271.33	・入荷見込量：2,700t（98） ・主産地：北海道（38）、岐阜（34）、岡山（12）	
		297.07	340	209.55	329	332	209.55	・入荷見込量：5,570t（105） ・主産地：栃木（29）、群馬（28）、茨城（26）、埼玉（7）	・栃木産は、梅雨の長雨と急激な気温上昇による草勢の低下等により、平年より少なめの出荷の見込み。群馬産は、雪害によりハウスものの作付が減っているが、今後は露地物中心で作付が増えたことから、平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。茨城産は、病害の発生もなく遅れていた生育も回復して順調で平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・群馬産及び茨城産は、平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷が見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並み若しくは平年をやや下回って推移する見込み。
		271.01	280	221.72	249	260	221.72	・入荷見込量：1,280t（105） ・主産地：山梨（24）、徳島（20）、大阪（11）、京都（10）、奈良（8）、愛媛（6）	
		251.50	289	251.50	316	300	263.58	・入荷見込量：2,050t（100） ・主産地：岩手（42）、茨城（21）、福島（18）、青森（13）	・岩手産は、生育は順調で今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、春物の作型の出荷は7月が終盤期で徐々に減少しているが、秋物の作型の生育は順調なことから平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・岩手産及び茨城産の出荷は、平年並み若しくははやや多めの出荷が見込まれることから、現在平年並みで推移している価格は、8月以降は平年の価格水準が上がる時期となることもあり、平年並み若しくは平年をやや下回る見込み。
		266.65	279	266.65	317	270	282.16	・入荷見込量：540t（100） ・主産地：青森（21）、兵庫（18）、北海道（12）、福島（12）、愛媛（10）、大分（9）	
根菜		86.59	81	94.60	78	73	94.60	・入荷見込量：9,340t（100） ・主産地：北海道（73）、青森（21）、岩手（4）	・北海道産は、長雨で播種できなかった影響が一部で生じて、出荷の谷間となっていることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。青森産は、干ばつ傾向で推移していることから生育に若干の遅れが出ているものの、概ね順調であることから平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、近年は夏場の需要が弱いこともあり、価格は引き続き平年を下回る見込み。
		94.24	88	100.39	78	76	100.39	・入荷見込量：2,800t（88） ・主産地：北海道（78）、岐阜（11）、青森（9）	
		133.01	114	133.01	112	102	123.08	・入荷見込量：6,580t（105） ・主産地：北海道（81）、青森（16）、輸入（2）	・北海道産は干ばつの影響でサイズがやや小さくなっているものの、概ね平年並みの出荷の見込み。青森産は、生育は順調で品質も良く、平年並みの出荷の見込み。 ・北海道産及び青森産の出荷が平年並みと見込まれるが、8月以降は平年の価格水準が下がる時期となることもあり、価格は平年に近づくものの、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		132.62	106	132.62	108	105	123.11	・入荷見込量：2,300t（104） ・主産地：北海道（91）、青森（8）	

種類		6月の価格情報		7月の価格情報			8月	生育及び価格の8月の見通し
		平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		平年価格	
			下旬		上旬	中旬		
いも		344.00	502	344.00	489	355	242.66	・千葉産は、ほ場により収量の違いが見られるものの、生育は概ね順調であることから平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、ほ場によりばらつきは見られるものの、生育は総じて順調であることから平年並みの出荷の見込み。 ・現在価格は概ね平年並みであり、千葉産及び宮崎産の出荷が平年並みと見込まれるものの、8月以降は平年の価格水準が下がる時期となることもあり、価格は平年並み若しくは平年をやや上回って推移する見込み。
		347.90	600	347.90	514	408	220.11	
		131.80	116	101.61	122	131	101.61	・北海道産は、一部の産地で干ばつによる影響が多少見られたものの、総じて生育は順調であることから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、6月下旬の天候不順により遅れていた掘り取り作業は8月上旬に終了し、今後は平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。 ・北海道産及び茨城産の出荷が平年並み若しくはやや多めと見込まれることから平年を上回っている価格は平年に近づく見込み。
		131.80	120	101.61	123	129	101.61	

注：1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,971gで前年比95%、購入金額は、1,963円で同103%となった。

また、小売物価統計によると、7月のキャベツの小売価格は、173円で過去5か年平均比113%、レタスは、338円で同105%とともに過去5か年平均を上回った。なった。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年			
	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	前年比	購入金額（円）	前年比
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861	105
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887	104
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5,146	98	1,993	107
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	4,971	95	1,963	103
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0		0
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0		0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0		0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0		0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0		0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)
(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	198	267	135	673	684	102
2月	211	234	111	605	578	95
3月	200	200	100	498	459	92
4月	248	206	83	469	381	81
5月	169	175	104	371	351	95
6月	137	147	108	317	321	101
7月	153	173	113	322	338	105
8月	140		0	415		0
9月	149		0	506		0
10月	158		0	449		0
11月	162		0	421		0
12月	162		0	521		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
2 平成26年7月の値は、7月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

6月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比122%の7万2千トン、加工野菜は同111%の15万9千トン、野菜全体は、同114%の23万トンとなった。このうち中国産野菜合計は114%の11万9千トンとなった。

生鮮野菜、加工野菜ともに前年を上回ったことから、野菜全体においても前年をかなりの程度上回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成24年		平成25年		平成26年1～6月		平成26年6月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	517,491	118	71,648	122
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	928,972	102	158,718	111
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	1,446,463	107	230,366	114
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	713,989	108	118,803	114
中国産シェア	51		52		49		52	

主な野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成25年6月(A)	平成26年6月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	26,106	35,172	135
	中国	24,262	31,678	131
	ニュージーランド	738	2,899	393
にんじん	合計	4,779	6,435	135
	中国	4,358	6,236	143
	ニュージーランド	351	141	40
ねぎ	合計	3,911	4,386	112
	中国	3,909	4,383	112

資料：ページ探(原資料) 財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年6月は、速報値。

4 トピック ― 家計における消費税増税後の野菜消費動向について ―

スーパーマーケットの青果販売額は、消費税増税の平成26年4月を挟んで、平成25年7月～26年6月の12ヶ月間連続で前年を上回って推移する中で、増税後の家計における生鮮野菜消費の動向を見ることとする。

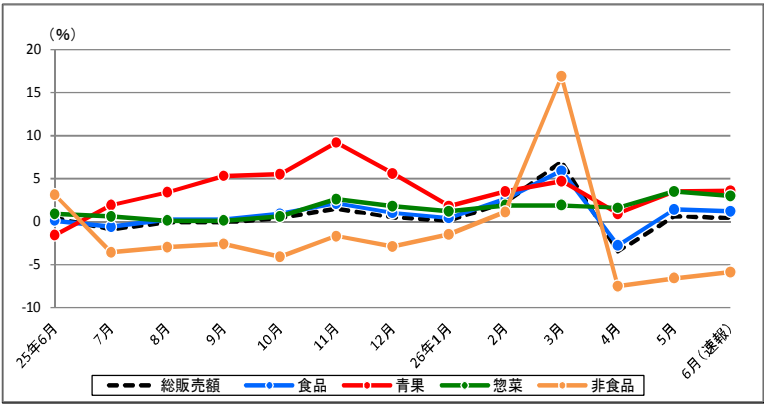
家庭における野菜の消費（平成25年）は、指定野菜が生鮮野菜（もやし、しいたけ、他のきのこを除く）の購入数量の75%、支出金額の62%を占め、最近10年間はほぼ同じ水準であり、家庭の食生活において指定野菜は引き続き重要な位置づけにある。

指定野菜の平成26年4月～6月の購入価格、購入数量の前年同月比を見ると、4月は購入価格が+6%と増税分3%を上回ったものの購入数量は▲1%とわずかな減少にとどまった。5月、6月は、2月の降雪被害等により購入価格が+12%と大幅に上昇する中で、購入数量は▲4%、▲5%と減少した。

一方、同様に、指定野菜以外の野菜の前年同月比を見ると、4月は購入価格が+12%と大幅に上昇して購入数量は▲6%減少したが、5月、6月は購入価格がそれぞれ前年並み、下落となる中で購入数量は増加した。

非食品では、消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動減が見られる中で、必需食材としての性格がある生鮮野菜の家計消費は、購入価格の変動に機敏に反応する傾向がうかがえるものの、消費増税分を上回る購入金額が続いており、増税直後の消費動向の水準にあまり大きな変化はみられていない。

スーパーマーケット販売額の推移(前年同月比)



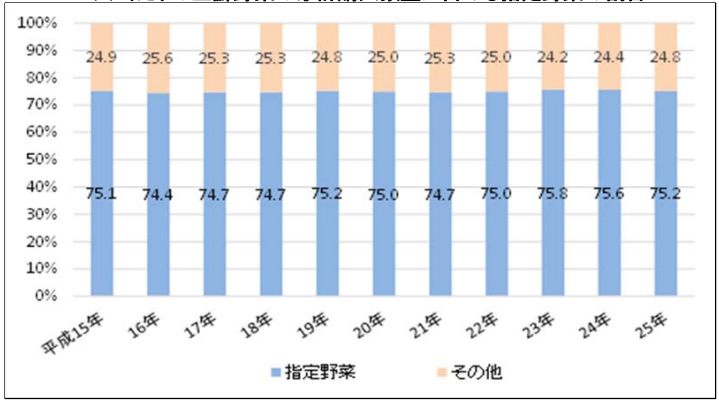
資料：日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会、(一社)新日本スーパーマーケット協会「スーパーマーケット販売統計調査」

野菜の一人当たり購入金額・数量および購入価格

	平成25年				平成26年				前年比			
	3月	4月	5月	6月	3月	4月	5月	6月	3月	4月	5月	6月
生鮮野菜												
購入価格	347	355	349	359	370	383	383	384	1.06	1.08	1.10	1.07
購入金額	1,547	1,614	1,690	1,727	1,656	1,700	1,809	1,834	1.07	1.05	1.07	1.06
購入数量	4,453	4,545	4,843	4,813	4,476	4,439	4,718	4,778	1.01	0.98	0.97	0.99
指定野菜												
購入価格	292	296	282	280	310	315	316	315	1.06	1.06	1.12	1.12
購入金額	979	1,015	1,060	980	1,058	1,070	1,142	1,052	1.08	1.05	1.08	1.07
購入数量	3,341	3,433	3,769	3,504	3,418	3,399	3,607	3,342	1.02	0.99	0.96	0.95
指定野菜以外												
購入価格	511	539	587	571	565	606	600	545	1.11	1.12	1.02	0.95
購入金額	568	599	630	747	598	630	667	782	1.05	1.05	1.06	1.05
購入数量	1,112	1,112	1,074	1,309	1,058	1,040	1,111	1,436	0.95	0.94	1.03	1.10

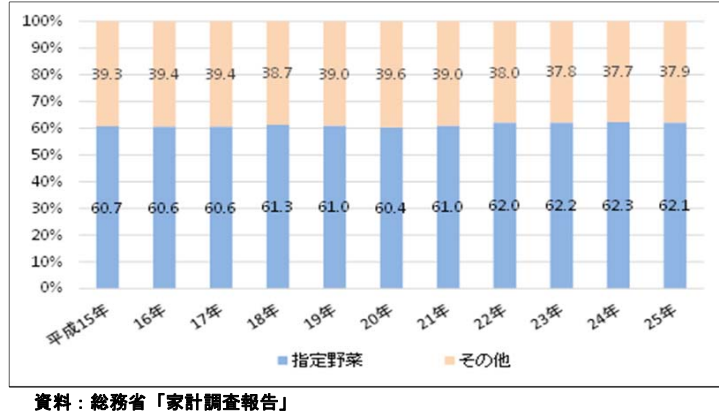
資料：総務省「家計調査報告」

一人当たりの生鮮野菜の家計購入数量に占める指定野菜の割合



資料：総務省「家計調査報告」

一人当たりの生鮮野菜の家計購入金額に占める指定野菜の割合



資料：総務省「家計調査報告」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。